

## もの忘れ簡易スクリーニング検査の手順・解説

「検査者記入用」と「被検査者・相談者記入用」の2種類のシートを使って検査します。

検査者は、次の順番で被検査者・相談者に質問および立方体の模写をしていただくよう説明します。  
また、採点し、合計点を記入します。

### 1 即時再生の検査（検査者記入用シートを使用）

最後に再度聞くことを事前に伝え「桜、猫、電車」または「梅、犬、自動車」のいずれかの3つの単語を言い、被検査者・相談者にも同じ単語を繰り返していただきます。

各単語につき正確なら1点、不正解の場合は0点です。

### 2 時間の見当識の検査（検査者記入用シートを使用）

検査日の年月日と曜日を質問します。各質問につき正解なら1点、不正解の場合は0点です。

✳「時間の見当識」の低下 ⇒ 側頭葉の障害が疑われます。

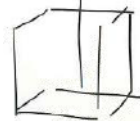
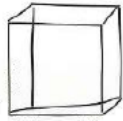
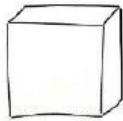
認知症が重度になるほど、一般に日時のズレが大きくなります。

### 3 空間認知の検査（被検査者・相談者記入用シートを使用）

被検査者・相談者に「被検査者・相談者記入用シート」を手渡し、立方体を模写していただきます。立方体は、図形内部の線など、各々の角を正しく結んでいることが正解（2点）の条件となります。概ね正解であって、一部不正解な場合には1点、完全な不正解は0点となります。

【一部不正解（1点）の例】

【不正解（0点）の例】



✳「空間認知」の低下 ⇒ 頭頂葉の障害が疑われます。

アルツハイマー型認知症の場合、立方体を正確に描けなくなってきました。

### 4 遅延再生の検査（検査者記入用シートを使用）

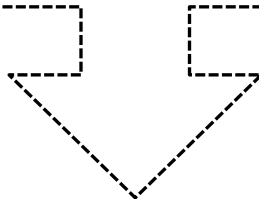
「1」で被検査者・相談者に覚えてもらった3つの単語をもう一度言っていただきます。自発的に回答があり正解していれば各2点です。少し待っても回答がない場合には、ヒント（植物、動物、乗り物）を出し、それで正解すれば各1点となります。不正解なら0点です。

✳「遅延再生」の低下 ⇒ 側頭葉の障害が疑われます。

認知症が比較的軽度の段階から障害されます。

### 5 採点（検査者記入用シートを使用）

合計点数を確認します。15点～13点では特に問題はないと思われますが、12点～0点では認知症が疑われます。



認知症の疑いがある場合は、医療機関を受診し、さらに詳しい検査をおすすめします！